



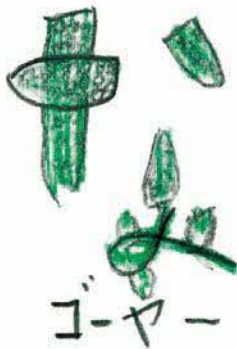
今帰仁村

議会だより

令和元年

12月1日発行 No.

156



引き継げる伝統



むらの花・ハイビスカス

もくじ

一般質問と答弁

2 p

クルーズ船寄港に関する視察
研修報告①

13 p

議決結果・賛否一覧表

14 p

現場踏査・研修会・編集後記

16 p

将来の夢

っ	っ	5/4	か	カ	ら	し	く	た	ら	
こ	り	に	ま	マ	で	生	し	い	昆	ぼ
大	に	お	え	キ	す	物	エ	で	虫	く
と	行	い	て	り	が	に	す		は	
る		い	し	な	な	お	い		生	
こ	こ	ち	ま	と	の	っ	た	な	物	大
で	う	や	い	が	で	し	時	ぜ	博	人
し	な	ん	ま	い	ト	す	か	な	士	に
ま	ぎ	と	す	た	か	そ	ら	ら	に	な
し	も	川		ら	が	た	お	ほ	な	っ
た	っ	に		っ	や	か	っ	い	い	た



題字紹介

今帰仁小学校 5年

前田 律登

一般質問

9 月定例会

会期日程 (9 月 6 日～ 19 日)

9 名が一般質問しました 9 月 11 日～ 13 日 (通告順)

P3	與那 勝治 議員	① 梯梧荘跡地売却後の進捗状況について ② 国保について ③ 庁舎建設について
P4	與那嶺 透 議員	① 3 月に引き上げられたジュゴンについて ② 今帰仁城跡の入城者について ③ 村立小中学校体育館及び村民体育館の照明設備について ④ シルバー人材センターの創設について
P5	上原 祐希 議員	① 観光振興について ② ツマジロクサヨトウの防除策について
P6	嘉 陽 崇 議員	① 北部テーマパーク開業について
P7	座間味 邦昭 議員	① 今帰仁村の少子化問題 ② 保育の無償化 ③ 今帰仁村の景気判断
P8	吉田 清尊 議員	① 古宇利島の光ケーブル・高速ブロードバンド通信実現について ② 名護市と今帰仁村と海洋博を結ぶ高規格道路建設促進について ③ 今泊と古宇利の道路と排水路の整備促進を ④ 嵐山のテーマパーク計画について
P9	島 袋 誠 議員	① 今帰仁村の景況感について ② 第3次今帰仁村観光リゾート振興計画について ③ 防災行政について
P10	玉城 みちよ 議員	① 特定健診について ② 幼児教育・保育の無償化制度について ③ 水難事故防止策について
P11	山城 太 議員	① 村管理道路について ② 観光振興について ③ 教育行政について

●の数字は掲載された質問です。それ以外の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。
詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。

問1 梯梧荘跡地売却後の進捗状況



與那 勝治 議員

当初代表だった方から前

代表者へ変わった際に、銀行、建築、経営に強い前代表者を代表に変更し、予算の確保を行うと説明があったが、登記簿を見る限り、全額支払った2月28日に代表者変更されている。前代表者は今現在TONYカンパニーの役員が。

答 企画財政課長

企業買収という説明が現代表者からあり、会社役員をそっくり変えたという報告を受けた。

問 転売を危惧して10年間の転売禁止条項をつけ入札を行った。我々議会の中か

らも会社ごと売られますよという話はしたつもりだが、この状況をどう捉えるか。

答 企画財政課長

企業買収はどの会社がきても起こり得ること。ホテル事業を行う会社と調整されている状況があり、梯梧荘跡地の有効利用が図られることを期待している。

問 以前TONYカンパニーと協定を結んでいた会社の存在はどうなっているか。

答 企画財政課長

代表が変更し、協定を結んでいた会社はなく、新しく紹介された会社とやっていくと説明を受けた。

問 当時代表だった前代表者もいない、協定先の会社もない。あの議会は何だったのか。当初から懸念されていたことが起きている。何も進まない今の状況をどう捉えているか。

答 喜屋武治樹村長

村からも積極的に事業が進められるよう申し入れをしていく。

問 去る議会において「協定書を結んでいるので担保はとれた」との答弁があった。村とTONYカンパニーが交わした協定書は生きているか。

答 企画財政課長

同協定書は効力が生じている。

問 売ったから終わりではなく、村長の基本政策に掲げている「景観にマッチしたリゾートホテルの誘致」、これはぜひ進めて頂きたい。

答 村長

指摘された件は早めに庁内で協議し、早速検討委員会を開いて対応していきたい。

問2 国保

国保値上げに対する村民への周知方法として、区長の意見を踏まえ、一堂に会して説明会を行ったとあるが、説明会を開くという案内はどのように行ったか。

答 福祉保健課長

7月に納付書と同封して説明会の通知を対象者へ通知した。

問 たった1回の説明会。それも納付書に同封しただけ。こんなあり方でいいのか。

答 福祉保健課長

非常に見づらかったというところは今後考えていかないといけない。

問 国保税額・税率の改正について、再度説明会を開催するののか。

答 福祉保健課長

村民の声を聞きながら、また課内でも協議をし、必要があれば開催する。

問 村長に伺う。国保増税が決まった定例会において「国保増税に伴い、身を削る覚悟はあるか」との問いに、「結論が出た段階で検討したい」と答弁している。どのように検討したか。

答 村長

国保の今後の見通し、庁舎建設もこれからはじまり、総合的に勘案しながら、どの時点で身を削る必要があるのか検討していきたい。

問 加入者に負担を強いるのであれば、首長自ら国保会計を改善していきたいという姿を見せるべきではないか。

答 村長

何もしないということではなく村三役、執行部、議会を含めて必要なのか検討したい。



議員 透 嶺那與

1 3月に引き上げられたジユゴン

ジユゴンの死因と現在の状況、今後の取り扱い。

答 教育長

解剖の結果、死因はオグロオトメエイの尾棘の腹腔内刺入によって内臓破裂によるもの。現在運天港内の今帰仁冷凍冷蔵施設で保管しており、村としては献体と骨格標本化として取り扱う予定。

問 骨格標本化はどのような形で行うのか。

答 社会教育課長

骨格を展示するような状態にするには油などを抜くために1年以上かかる。それとあわせて補助事業の活用を含めて事業

化を考えている。令和3年度以降の事業になる。

問 展示場所は。

答 社会教育課長

グスク交流センターか歴史文化センターを想定している。

問 教育の観点から、生の教材として活用する考えはあるか。

答 社会教育課長

ジユゴン自体の生態、国の天然指定記念物ということもあり、生息していた海域の自然環境に関しても教材になる。活用していきたい。

2 今帰仁城跡の入場者数

過去5年間の推移は。

今帰仁城跡過去5年間の 入場者数の推移	
年 度	入場者数
平成26年度	286,013
平成27年度	293,331
平成28年度	301,479
平成29年度	274,867
平成30年度	252,155

答 教育長

問 オリジナルのお土産品の開発。

答 教育長

指定管理者等から城跡関連資料を活用したいという申し入れがあれば協力したい。

問 村として独自にやる考えはないか。

答 社会教育課長

現段階では考えていない。

問 今帰仁村をPRするためには城跡を活用する。活用するためには村が主体となつてアイデアとかそういったものを生み出していくべきではないか。

答 村長

指定管理者との月二での情

報交換会、必要とあればテナント業者も交えて検討すべき。

答 社会教育課長

問 大分県にある岡城のお土産品で巻物がある。それには城の歴史や配置図などが記されている。また、宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘したと伝わる巖流島には、上陸したらその上陸の証として上陸認定証という名の絵葉書が売られている。切手を購入して投函すると家に届くというものがある。いずれにせよどこでしか買えないお土産があれば少しずつ回復していくのではないか。

問 実用化できると考えていいのか。

答 社会教育課長

タイアップして利益になるような内容であれば検討していきたい。

答 村長

こういうことも参考にしながら入場者数を増やせるような施策をしていかなければいけない。

答 教育長

問 5Gを活用したバーチャルリアリティ導入の進捗状況は。

答 教育長

今年1月にNTTドコモが城跡内において実証実験を行っている。

問 具体的な内容は。

頭部にVR装置を装着して北山対中山の戦いの再現、タブレットを用いて遠隔操作で歴史学者の説明が受けられる。

3 村立小中学校及び村民体育館の照明設備

LEDに変更する考えはないか。

答 教育長

2020年に水銀灯が製造中止になるということもあり、照明器具の更新を行っていく必要があり、今後、補助事業の活用を含め、更新計画を作成する。

問1 観光振興



上原 祐希 議員

本村の観光客増加に伴う海岸利用での様々な課題に対し、秩序を守り、自然景観保全にも繋がる海岸条例の制定が必要。海岸の県からの移譲を受けての認定ビーチ等を進めていくひとつになる。恩納村等の先進地では県からの全域の海岸移譲を受けているが、多くの自然海岸を持つ今帰仁村では管理面の負担等の課題もあるが、その辺も踏まえた村の考えは。

答 経済課長

管理には予算も絡む。また地域住民とのルール作りが絶対条件と恩納村から伺っている。恩納村から色々伺いながら今帰仁村での条例制定にむけ進めていく。

問 恩納村では平成17年に「恩納村沿岸地域圏総合管理協議会」を設置し、有識者、漁協、ホテル業者、マリンレジャー業者等を交え、沿岸域の利用保全ルールを制定している。今後、様々なトラブル等が起こる事を踏まえ、スピード感を持って対応していく必要がある。村の考えを伺う。

答 経済課長

地域の方々、漁民の方とトラブルが起きないように調整しながら、今帰仁村独自のルール作りが必要と考える。専門分野の方の意見を頂戴しながら進めていきたい。

問 第3次今帰仁村観光リゾート振興計画の運用について、開発抑制や、観光ゾー

ニングという事で、住民生活環境を守るためのゾーニング、観光地のゾーニング等、村の考えを伺う。

答 経済課長

きちんとしたゾーニングはまだ作成出来てない。今後オーバートリズム等の課題を考え、観光協会、商工会と連携していく。

問 今帰仁村沿岸には多くの魅力的な土地が残る。その景観を保全しながらの観光振興を目指す本村においてルール作り必要では。

答 経済課長

景観条例や、個別法で調整しながら、地域住民が中心となって、景観に配慮した開発を進めていく。

問 海や自然景観を守るための具体的な施策が必要。赤土対策等の環境保全に充てる財源確保を、環境税、宿泊税等検討出来ないか。また、観光客が増えることで、自然環境が良くなるような

良い循環を生む仕組み作りが重要では。

答 経済課長

村独自の取り組みとして何が出来るか研究したい。

問 クルーズ船客誘致の観点から今帰仁城跡のイベント広場などで伝統芸能披露などの活用は出来ないか。

答 経済課長

名護市、本部町と連携し、協議会等の中で地域経済が循環するような仕組みを要望していきたい。

問 古宇利への光ブロードバンド整備事業が来年2月までに古宇利ふれあい広場まで整備されるにあたり、島内への支線整備が重要と思うが。

答 副村長

民間事業者へのアプローチをかけていく。

問2 ツマジロクサヨトウの防除策

農水省からの助成として、牧草などへ農薬散布した場合の飼料助成等色々あるが、農家の認識が必須である。農家との連携は。

答 経済課長

担当職員が細かく農家を回っており、和牛改良組合、JAとも連携を取っている。農水省の助成は県から通知が来ておらず、来次第早急に対応したい。

問 繁殖力が凄く、今年1月に中国で見つかり、6月に台湾、7月に鹿児島にきて

いる。アフリカのジンバブエでは70%の農作物被害で7,000億円もの被害総額が出た恐ろしい害虫である。台湾では専用SNSアプリや通報ダイヤル等様々な措置を根絶に向け取っている。すでにサトウキビにも入っている中、初動対応の徹底を求めるが。

答 経済課長

早い周知をJA、生産団体を含め連携して行う。

問1 北部テーマパーク 開業



嘉陽 崇 議員

会社側からの説明の概要は。

答 村長

嵐山ゴルフ倶楽部用地を改修し、約64ヘクタールの施設面積で、主に森林を生かした体験施設を整備することであった。

問 今帰仁側を利用する予定の面積は。

答 企画財政課長

嵐山ゴルフ場の総面積は名護市を含めて約120ヘクタールであり、そのうち今帰仁村側の面積は約100ヘクタールで、64ヘクタールすべて今帰仁側を

利用する事業計画である。

問 村はテーマパークを積極的に誘致していく考えはあるか。

答 村長

誘致については、具体的計画が示された段階で対応を考えていく。

問 2年後からはゴルフ利用税が村へ入らなくなる予定ということだが。

答 企画財政課長

ゴルフ利用税に見合う税収については、まだ企業によつての計画段階であるので、これからいろいろ調整が進んでいく中で具体的に

問 年間数百万人の集客を予定しているということだが、今の道路事情では到底対応できないと考える。混雑が発生したり、大型観光バスが通ったりと、道路整備が必要になってくると考えるが。

答 建設課長

業者側から、100万人、200万人が来ると、農道だけの整備では絶対いけないということ、10月からは道路コンサルタントを入れて調査をするかあった。どこが整備するかはまた今後の課題だと思いますが、この辺は行政にも要望している。

問 村の振興発展のためにも道路整備は非常に有益だと考える。村へ観光客を誘導するためにも、名護東道路を今帰仁村まで引く張つてくるということは必要だと考えるが。

答 村長

名護東道路延伸について

は今後も広域の場でも要請をしていきたいと考えている。

問 今後村が積極的に考えていかなければならない課題として、法人税があると考え。本社をどこに置るか、給料をどこで計算するかで法人税を納める市町村が変わると思うが。

答 住民課長

市町村に収める法人税の中に、法人税割と均等割という二種類がある。この法人税については、本社がある市町村、そして事業所、事務所がある市町村の両方に入る。

問 排水は今帰仁村へ流し、水道は今帰仁村からの利用で、土地のほとんどすべて今帰仁村側を利用する。交通量の増加、道路整備の負担、そして2年後からはゴルフ利用税が村へ入らなくなると予想される。最低でもこれに代わるだけのお金

まねなければならないと考えるが。

答 企画財政課長

今後具体的な説明になってくれば、税であったり、雇用形態であったり、村からの要望であったり、そういったものは具体的に提案していききたいと考えている。

題字募集

議会だより「なきじん」の題字を募集します。



今帰仁村内小学校のみなさん、あなたの文字をお待ちしております。



題字募集のサイズ
たて4cm×よこ12cm
ひらがな横書き

お問い合わせは、今帰仁村議会事務局（☎56-4397）まで



座間味 邦昭 議員

問1 今帰仁村の少子化問題

本村において子どもの出生数が過去5年間、毎年80人前後で推移していたが、平成30年度の出生数が62人と極端に減少し、少子高齢化が急速に進行している結果があらわれた。少子高齢化は、村の財政への影響や保険料等の負担増、さらには大切な地域への歴史文化の継承も困難にし、村の将来にも影響を及ぼすことから、村として出生数減少の対策をどのように捉えているのか、さらに今後の対策をどのように考えているのか答弁を求める。

答 村長

これまで減少傾向であったが、平成30年度は過去最少の出生数62人となった。原因として本村の25歳から34歳までの女性の減少が起因していると考えられ、引き続き本村の人口ピジョン・総合戦略に掲げられている「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえ、安心して子育てが出来る環境の創出」の実現に取り組む。

問 極端に出生数が減った原因は、25歳から34歳までの女性が減少したからとの答弁であるが、ではなぜ25歳から34歳までの女性が減少したのか、その理由をどのように捉えているのか。

減少した要因は、職場に近い地域や子育て環境が整っている地域への転出等を含めて総合的な要因で減っていると考えられるが、男性に関してはまだ把握できていない状況である。

答 幼保連携推進室長

問 人口が減るということは、行政運営にも影響を及ぼす。データや数字を的確に捉えて行かないと全ての施策が間違ってしまう、仕方ないではすまされない問題である。データから示された今帰仁村の現状を読み解き、その具体的な施策をもって対応していかないと、人口ピジョンで示された目標1万人という人口計画も計画で終わってしまう。計画を立てたならその都度チェックしていく必要がある。データを読み解けば、今帰仁村の弱さ、強さ、更には魅力が把握できることから、今後、データを分析していく考えがあるか。

答 村長

現状把握や村独自の施策をどのようにすれば出来るか、データを参考にしながら今後全庁を挙げて検討していきたい。

問2 保育料の無償化

令和元年10月から消費税引き上げに伴う保育料無償化がスタートするが、保育料以外の負担はないか答弁を求める。

答 村長

私がふだんから住民との対話で感じた感覚としてお答えしたものであり、具体的なデータに基づいて回答したものではない。

答 教育長

三歳から五歳児までの全ての子供とゼロ歳児から二歳児までの村民税非課税世帯の子供が無償になるが、これまで実費徴収している教材費や主食費のほか、新たに副食材料費相当額が保護者負担になる。ただし年収360万円相当未満世帯の子供及び全世帯の第三子以降の子については、副食材料費相当額が免除される。

問3 今帰仁村の景気判断

答 村長

そういう肌感覚だけじゃなく、調査等に基づいて回答すべきところは検討し、今後対応して頑張っていく。

新聞報道にも掲載される回答に関し、一つ一つの発言がその地域の状況を示すため、村長の発言は非常に重みがある。感覚だけではなくデータをしっかり捉えた上で、発言できるようにしていただきたいと思うが見解を伺う。

問1 古宇利島の光ケーブル・高速ブロードバンド通信実現



吉田 清尊 議員

「サービスを利用できるようにしていただきたい。実施計画を村長に伺う。」

答 村長

古宇利島への光ブロードバンド整備は、北部広域ネットワークの延伸として、北部広域ネットワーク機能強化事業が本年8月に採択された。12月から工事の着工を予定しており、古宇利ふれあい広場までの延伸を今年度に完了する。

平成30年3月議会で「古宇利島の光通信・情報インフラ整備」を県と国に働きかけ、早期に取り組みよう一般質問した。議会としても全会一致で決議し、村と共に関係機関に要請を行った。改めて一般質問する。2012年4月の本部港へのクルーズ船入港、嵐山のテーマパークの開業予定もあり、古宇利島の皆様、観光関係者、観光客は1日も早い高速ブロードバンド通信と、Wi-Fiサービスの利用を心待ちにしている。古宇利島に今年度中に光ケーブルを開設し、高速ブロードバンド通信、Wi-Fi



問2 名護市と今帰仁村と海洋博を結ぶ高規格道路建設促進

2012年、本部港にクルーズ船が入港予定。嵐山ゴルフ倶楽部にテーマパークが開業方針。国道505号は近年、混雑に拍車がかかっている。名護東道路を起点に、名護市伊差川から今帰仁村嵐山と村内各地を通り、海洋博記念公園を結ぶ新規の将来計画4車線の高規格道路の建設を今帰仁村・名護市・本部町で沖縄県と政府に陳情・要請する考えがあるか村長の見解は。

答 村長

高規格道路建設の実現について、本島を縦断する国道58号整備の一環で名護市世富慶から伊差川まで整備が進んでいる。国道事務所では、その延長先の計画について、今後、今帰仁村や本部町と意見交換を行いたい旨の説明があった。本村も、関係部局と積極的に意見交換

問3 今泊と古宇利の道路と排水路の整備促進を

今泊区の通称ミーモー周辺の道路は、雨が降ると2週間も水が引かず池のような状態が続く。村道第3古宇利原線に隣接する里道の排水路は、勾配の影響で雨水が流れず悪臭と蚊の発生源である。また、排水路がブロック塀の真下にある、整備が必要である。村道古宇利線隣接里道の個人有地を購入する計画について。

村道古宇利線の旧ため池周辺里道の拡幅工事とT字路4か所の整備工事について。以上の整備について伺う。

答 村長

ミーモー周辺道路については、早急に整備を行う予定。村道第3古宇利原線に隣接する里道の排水路は、勾配を修正できるか検討する。排水路がブロック塀の真下にある箇所も、集水ますの方向へ排水路を変更できるか検討

問4 嵐山テーマパーク

オリオンビルほか4社が嵐山ゴルフ倶楽部にテーマパークを建設する報道に今帰仁村は、どう対応するか。現在把握しているテーマパークの会社の所在地(住所)、テーマパークの計画、建設費用、開業時期等の詳細を村長に伺う。

答 村長

テーマパーク事業の計画概要等について、令和元年7月29日に「株式会社刀」から村へ事業概要の説明があった。嵐山ゴルフ倶楽部を改修し、約64ヘクタールの施設面積で、主に森林を生かした体験施設を整備するとのこと。テーマパークへの対応は、具体的な計画が示された段階で考える。

や要請等を行っていききたい。

する。村道古宇利線隣接の里道の個人有地の購入は今後検討していく。村道古宇利線付近の拡幅工事とT字路4か所の整備工事は、補助事業がないか、検討していく。



島袋 誠 議員

問1 今帰仁村の景況感

7月15日の沖縄タイムス記事にて、沖縄県内自治体の景況感調査が一面で記載され、41市町村中、上向きが23市町村、変わらないが17市町村で、本村は1村のみ「下降している」と答えている。調査や数値に基づいた根拠があるのか。

答 村長

掲載内容については、東京五輪・パラリンピックを1年後に迎える中で、自治体としての取り組みや訪日外国人受け入れ対応の設問の中で、首長が答えたものである。1年前と比べた景況感について、私がふだんから住民との対話などの中

問2 第三次今帰仁村観光リゾート振興計画

で感覚として答えたものであり、具体的なデータに基づいて回答したものではない。

自然景観が残る砂浜、その周辺の保全是。

答 村長

一般公共海岸区域の管理者は沖縄県知事となっている。近年、村においても、無秩序な海岸利用で多々問題が発生していることから、ルールづくりの条例制定は必要なことと考えており、今後沖縄県からの助言及び先進地事例を参考に、条例制定に向け進めていく。

周辺の保全については、農作物や住宅などを守る壁

の役割を果たし、災害を防ぎ、心に安らぎやうるおいを与え、また景観の観点からも重要な働きをする保安林を違法な伐採等によりその働きが損なわれないよう、関係機関と連携を図り保全に取り組んでいきたい。

問 桜まつりを含めた、今帰仁城跡魅力向上は。

答 村長

同まつりは実行委員会形式で行っており、その内容についても実行委員会で話し合ったうえで決定している。第12回の桜まつりにおいては、入場者数がこれまでの最高入場者数となった。今後今帰仁城跡魅力向上につながる内容となるよう、実行委員会で話し合っていく。

問 村観光大使について

答 村長

村の魅力を広く村内外に紹介し、村のイメージアップ及び観光振興を図るため

の村観光大使を、本人の同意を得て村長が認証し、現在3名の方に観光大使として村のピーアール活動にご尽力いただいている。

問2 防災行政

ハザードマップに記載されている広域避難所の耐震性、安全性、利便性は。

答 村長

現在広域避難所として指定している6カ所のうち、新耐震基準以前の建物とそれ以後の建物が混在している状況にある。現在、指定避難所及び指定緊急避難場所を含めた全ての避難所について見直し作業を行っているところであり、作業を行うに当たり耐震性、安全性、利便性等を考慮した上で、再度避難所の設定を行っていきたい。

問 防災教育について

答 教育長

地震・津波訓練と地震・火災訓練を隔年で実施して

いる。事前指導として、冷静に行動するため危険箇所、避難場所、避難経路の確認を行い、事後指導として各自の反省を踏まえ災害から身を守るため、日ごろからの備えについて考えさせる取り組みを行っている。

問 平成29年第1回定例会にて、防災士の必要性を提案し、検討するとあったが、進展はあるか。

答 村長

現在、村の防災担当職員は沖縄県主催の防災関連研修会等に参加し、防災の知識を高めていくために取り組んでいるところであり、防災士の資格を有する必要性については検討中である。今後の展望として、まずは地域において自主防災組織を充実させたいうえで、その組織のリーダー的役割を担う方等に資格を取得していただくと取り組みが広がれば、より地域での防災への意識も強くなるものと考えている。

問1 特定健診

生活習慣病全般の予防、発症、重症化を抑制する意味においても重要な役割を果たしている現在の特定健診だが、昨年の受診率は。

答 村長

昨年の受診率は、対象者数 2,441 人中、受診者数 1,050 人で 43% となっている。

問 本村が目標とする受診率が設けられているのか。

答 福祉保健課長

平成 30 年度から平成 35 年度まで目標設定として検診受診率は、平成 30 年度で

50%、平成 35 年度までに 60% となっている。保健指導率では、平成 30 年度で 80%、平成 35 年度までに 90% を目標としている。

問 過去 3 年間未受診者への訪問や受診強化策はどのように図っているのか。

答 福祉保健課長

5 年以上、未受診者への全戸訪問を行っておりまして、現在は国の方針に基づき効果的、効率的な未受診者対策を実施し、糖尿病重症化予防の対象者を専門職による受診勧奨を行っている。

問 本村において受診率の高い字は。

答 福祉保健課長

運天区、越地区、渡喜仁区となっている。

問 受診率向上や普及啓発強化の取り組みとして、受診率の高い区や、健康づくりに積極的に取り組んでいる区を評価し報奨を設けるなど、区へのインセンティブ事業を取り組む意向について伺う。

答 村長

特定健診の受診率は、43% と過半数にも達していない状況から、今後、受診率を上げることが病気の重篤化を防ぎ、早期発見治療することで医療費の抑制にもつながる。担当課で現在、取り組んでいる市町村の情報などを収集し、今帰仁村に合った具体的な提案があれば、財政上の検討も含め、実施する方向で進めたい。

問2 水難事故防止対策

水難事故に対して防止対策及び発生後に対する行動について伺う。

答 村長

本村では、水難事故防止を目的とし、関係機関を持つて構成された「今帰仁村水難事故防止協議会」を設置し活動を行っている。今後も構成機関との連携を密にし、目的達成に向け活動する。

問 残念な事に 8 月 2 件の水難死亡事故が村内の海に立て続きに発生したが、このような水難事故発生は、今後、観光振興にどのような影響を与えようと考えているか。

答 経済課長

観光に対してマイナスイメージが大きいと考える。

問 本村は、観光協会の取り組み強化もあり、民泊を

営む事業所が多い。今後、観光協会や水難事故防止協議会と連携を図り、村内に宿泊される観光客への事故防止策チラシを周知していく方法も必要では。

答 経済課長

観光客の最も多くの事故がマリンスレジャーや魚釣りのライフジャケットを着用していない場合が主な理由。今後は、県警からの多言語チラシを観光協会と連携を図り周知していく。

問 外国人観光客への遊泳に関する注意喚起の多言語看板設置や適切な対応ができるよう水難事故防止対策のマニュアルづくりが必要と考えるが。

答 経済課長

水難事故防止協議会の中で、協議した上で有効な手段やマニュアル作り等が可能か検討していきたい。



玉城 みちよ 議員





山城 太 議員

問1 村管理道路

排水溝に土砂等が堆積し、雨天時に雨水が溢れ出し通行に支障をきたす場所があるがその対策は。

答 村長

排水路の横断については、村に何箇所かあると把握している。今後は、道路整備等の補助事業を行う場合に変更を考えて行きたい。

答 村長

大雨、台風後はパトロールし現場確認を行っているが、全箇所十分な確認が行えないのが状況である。今後は区長及び住民からの情報収集を行い十分な対策に努めて行きたい。

答 建設課長

グレーチングの側溝が機能していない状況であり、お墓に流れ入るのを確認している。重機を使用し早急な対応を行って行きたい。

問 側溝が詰まり土砂等がお墓に流れていくがその対策は。

問 排水溝が道路右側から直角に左側へ横断する様に設置され、その影響で雨量の多い時期には私有地へ大量の雨水が流れ込み、土地を侵食し土砂崩れを起こした危険な場所がある、その対策対処は。

問 ここは毎回このような状況であり、見落とす事自体おかしい。パトロールは車中からか、そういう箇所があれば下車し目視、写真撮る等しているのか。

排水路は村の財産でありこの排水路の影響で土砂が崩れたということになると、村も対策を取らないといけない。

問 道路整備の補助事業を行う場合、変更を考えるとあるが、補助事業が受けられるまで現状のままにし、土砂崩れで消失した場合はどうするのか。

答 建設課長

パトロールをしながら、明らかに分かる所は写真を撮り応急処置を行っている。

問 水が溜まっていなければ、確認しないという事か。

答 建設課長

車中での確認である。

問 土砂崩れが起きている原因というのは、行政が排水路を設置し、水が流れ入らないように土嚢を積んでいるからだと思うが、この様な場合の責任の所在はどうなるのか。

答 建設課長

排水路は村の財産でありこの排水路の影響で土砂が崩れたということになると、村も対策を取らないといけない。

答 建設課長

早急に現場を確認し対応策を考える。

問2 観光振興

村の観光振興の具体的なビジョン、取りくみは。

答 村長

「自然と歴史とロマンに満ち躍動するむら」を基本理念とし、豊かなむらづくりを目指すし、各施策に取組んでいる。

問 ユニバーサルツーリズム、高齢者、障害者の旅行受入に関しての村の考えは。

答 経済課長

第3次村観光リゾート振興計画にバリアフリーを含めたユニバーサルデザイン検討が必要とあり、これを踏まえ、古宇利島の観光拠点施設の中でも調整している。

問 策定委員を確認したが、老人会役員、福祉保健課長等が入っているが、障害者

施設、福祉関係に携わっている方々も入れ、多くの声を聞くのが良かったのではないかと。入れてないのであれば、健常者目線だけになると思うが。

答 経済課長

福祉保健課長からユニバーサルデザインをしっかりと、との意見があり、それも踏まえ今後検討していく。

問3 教育行政

何故県立北山高校に公営塾をつくり村立小中学校には公営塾をつくらないのか。

答 教育長

夢咲塾の開始時の考え方が、北山高校の存続、そして理科の存続の危機であり、そこに高校の魅力化事業の支援があった。中学校への支援として、夢咲塾がもっている性格と違う考えであるが、中学校については、毎週月曜日の5校時終了後に学習の補習的なことが出来ないか調整中である。



本部港へのクルーズ船寄港に関する 視察研修報告 ①

2019年9月23日(月)~26日(木) [4日間]

視察研修先 石垣市・台湾

今帰仁村議会では、令和元年9月23日から3泊4日の日程で、「本部港へのクルーズ船寄港に関する先進地調査」として石垣市、及び台湾への視察研修を行いました。

沖縄観光といえば飛行機で訪れるお客様を想定しますが、世界的にクルーズ市場が拡大し、近年ではアジアのクルーズ市場が急成長を遂げており、沖縄県も地理的優位性を活かした「東洋のカリブ構想」を掲げクルーズ船による新たな観光客の受け入れに取り組んでいます。

沖縄県内には5カ所のクルーズ船の拠点港があり、そのひとつに本部港が選定され、それに伴い大型クルーズ船が接岸できる港湾整備が着々と進んでいます。

2021年4月からは大型クルーズ船（乗員乗客最大1万人）が年間88回寄港する予定となっており、一度に大勢の外国人観光客が訪れます。その際、下船

後の交通手段であるバスやタクシー、レンタカーなどの不足が見込まれることや、外国人観光客に対する通訳等の人材確保など、受け入れ態勢の取り組みや村民への周知等がほとんど進んでいないのが現状です。



大型クルーズ船が接岸できる港湾整備が着々と進む本部港

この受け入れ態勢の取り組みは、寄港先の本部町だけで完結する問題ではなく、本部半島及び北部地域

が一体となって取り組む必要性があるとの共通認識のもと、今帰仁村議会、本部町議会、伊江村議会による

3町村議会合同の先進地視察研修を行いました。この合同視察研修には、今帰仁村観光協会、今帰仁村観光関連業者、伊江村役場、本部町商工会も加わり、民間事業者の感じる率直な意見も反映させることとしました。

我々今帰仁村議会ではこの研修に先駆けて多くの会議を開き、議論を積み重ねてきた結果として、いくつかの疑問点があげられました。

①どのような客層で何を求めているのか。

②クルーズ船寄港による大きな経済効果が期待されている反面、大型商業施設のみが潤い、地域への経済効果はほとんどないのではないか。

③ごみ問題やマナー等のトラブルが増えてしまう恐れがあるのではないのか。

④何もせずにいるのではないのか。

く、先進地域の取り組みや課題等を学び、本格的な寄港が始まる前に地域の取組みに反映させる必要があるのではないのか。

⑤視察研修を行う前に、クルーズ船の専門家を交えた勉強会や沖縄県の取り組みを知る必要があるのではないのか。

⑥クルーズ船寄港による取り組みが遅れている現状を打破するためにも、3町村広域で合同視察研修を行い、互いの意思疎通を図るべきではないのか。

⑦議会だけではなく行政や商工会及び観光協会や観光関連事業所も一緒に取り組む必要性があるのではないのか。

このような意見を踏まえ、この研修をクルーズ船受け入れに特化した視察研修とし、広域で取り組むまたとないチャンスと捉え、視察研修を実施致しました。

研修内容

1日目：9月23日(月)

石垣市におけるクルーズ船受け入れの現状について
(民間事業者への調査)

①台湾から石垣港へのクルーズ船初就航(平成9年2月25日)から22年を経ている。限られた富裕層の船旅といった以前のイメージはなく、服装もカジュアルで幅広い年齢層の人々が乗り込んだ、大別すると「ショッピング」と「食」を目的とした船旅である。

②最初の入港時は、儲かるのはバス会社だけだと冷ややかな目で見られていたが、クルーズ客が市場で買い物をし、レストランや食堂で食事をするようになり、徐々に地元の協力体制が構築されていった。

③民間主導のクルーズ船客受け入れの取り組みは、観光関連業者を中心としたインバウンド協会八重山会が組織され、現在もその組織が事業展開の中心となっている。

④中国系のクルーズ客は、キャッシュレスが進んでいるためほとんど現金を使わず、最終的には市内にある中国系の免税店で必ず買い物をするツアーサイクルとなっている。中国系の免税店と連携しているコースのクルーズ客は高価な地元お土産品での買い物は全くと言っていいほどしない。

⑤クルーズ客をつなぎとめるプログラムの一つは「食」であり、台湾・中国のクルーズ客は石垣牛を求めている。市内に多くの焼き肉店があるが、地元住民は予約が取りにくい状況である。

⑥クルーズ客と修学旅行、一般の観光客でバスやタクシーなどが足りなくなるオーバートーリズムの発生。

⑦川平湾をはじめ、観光地の駐車場が手狭でトイレも足りず拡張整備工事が必要。

⑧バスが足りないというところで中国系のクルーズ船社が自社のバスを持ちこむという提案もあるが、料金体系が崩れてしまい価格破壊

に追い込まれることが予想されるのでそれは拒否している。

⑨お土産はショッピングモールで日用雑貨品や食料品、ドラッグストアで大型スーツケース2個分の買い物をしている。

⑩「石垣市クルーズ客船受入連絡協議会」を組織している。意見交換や情報収集、白タク対策等各種課題解決を図り、誘致・受け入れ施策を展開している。

⑪ゴミ箱についてはゴミの持ち帰りが基本のため原則設置していないが、川平湾公園内のいたるところにゴミが捨てられていた。

⑫琉装や三線などの体験ツアーはない。世界遺産今帰仁城跡で行うのはいいことだと思う。

⑬本部港入港のクルーズ客が売りたいものを買わなかったと後悔するのではなく、お客さんが何を欲しがっているのかをリサーチして準備することが大事。

などといった実際にク

ルーズ客と接している事業者からの現場の声や今後の課題を調査し助言もいただきました。

石垣市では民間主導で組織づくりが行われ、トライ＆エラーを繰り返しながら現在の組織に成長しています。また、クルーズ客のニーズを把握し、石垣牛や魚介類の需要があることを市場や飲食店関係者を含めて組織共有するという儲けを独占しない文化は、地域や業界全体が発展していく上で既得権益の縛りをなくす良い取り組みだと感じました。

今回行われた視察研修に關し、今回と次回にわたり研修内容を報告させていただきます。

※クルーズ船に関するところについて、村民の皆様のご意見をお待ちしております。

報告書全文については、村ホームページ、及び議会事務局においても閲覧できます。

令和元年12月定例会傍聴へ行こう！

令和元年12月12日(木)～20日(金)までの会期予定です。
一般質問日程は13日(金)・17日(火)・18日(水)の予定です、
詳細については事務局までお問い合わせください。

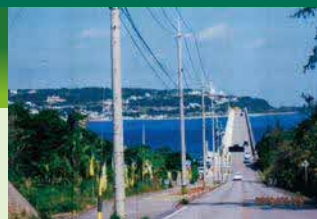
あなたが選んだ代表がどのような活動をしているか村議会を傍聴してみませんか？

お問い合わせ ☎0980-56-4397 議会事務局



クルーズ船受け入れに関する民間事業者からの聞き取り調査・石垣市商工会2階会議室(9月23日)

県道247号線無電柱化実現を求める要請決議



沖縄県は豊かな自然環境と固有の歴史文化から形成された美しい風景を有しており、このような良好な景観は県民のみならず、多くの観光客にも喜ばれている。

今回要請を行う場所は、名護市屋我地から古宇利大橋へ向かう道路で、大橋と古宇利島が一望できる絶景スポットである。古宇利島へ初めて向かう観光客にとっては、まさに楽園へ向かう気持ちとあまりの美しさに魅了され、多くの観光客がそこで写真撮影を行っている。しかし、その絶景をさえぎる形で道路には電柱が立ち並び、観光イメージ写真などにも利用できるほどの絶景に水を差しているように感じる。古宇利島は国営沖縄海洋博記念公園に次ぐ北部の観光地であるが、この電柱が景観を損なわせているため、魅力あふれる美しい観光地づくりを行うためにも無電柱化は必要であると考え、本村議会としては、名護市側とも積極的に連携を図り、無電柱化を進めていく考えである。

沖縄県無電柱化推進計画によると、要請者である道路管理者が原則として全額負担し、無電柱化を進める手法で、沖縄県では平成24年度より沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)を活用し、同方式で無電柱化を実施しており、今後も同方式を用いて無電柱化を進めると記されている。

そこで今帰仁村議会として、県道247号線の無電柱化実現に向け各関係機関へ要請する。

令和元年 9 月 19 日

沖縄県国頭郡今帰仁村議会

宛先：沖縄県知事 沖縄県北部土木事務所長

名護東道路北進今帰仁ルート本部町終着の要請決議

沖縄県においては、近年観光客の増加は著しく、平成30年度の入域観光客数は約999万人を数え、多くの観光客はレンタカー等の交通機関を利用しており、国道58号の交通渋滞は恒常化している。沖縄自動車道許田インターチェンジから名護東道路への接続について、国の工事が加速化され、世富慶から数久田間は2021年夏頃の開通が予定されている。さらに、伊差川から先の延伸に関する調査が進められることになっている。

現在今帰仁村においてテーマパークの大型事業計画が進められており、開業後は年間数百万人の入場者数が予想される。また、本村には観光地の古宇利島や、ユネスコ世界遺産に登録されている今帰仁城跡が整備され、年間約100万人の観光客が本村を訪れている。本村議会としては、当地区への観光客の円滑な誘導や今後予想されるテーマパーク会場への交通渋滞緩和及び北部振興活性化のための新たな道路整備が必要だと考える。隣の本部町にある国営沖縄海洋博記念公園においては、平成29年度入園者数が前年度に比べ2.3%増の約500万人で、6年連続過去最高の入園者数となっている。また2021年からは大型クルーズ船が本部港へ寄港する予定で、本部半島地域においては今後さらなる交通量増加が予想される。

名護東道路については、平成31年4月25日に全線開通に向けた整備並びに延伸を図ることを北部市町村会で決議されている。そこで、本村議会として名護東道路北進今帰仁ルート本部町終着を要請する。

令和元年9月19日

沖縄県国頭郡今帰仁村議会

宛先：国土交通大臣 内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣
沖縄県知事 沖縄県議会議長 沖縄総合事務局

議決結果・賛否一覧表

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「公」：公務の欠席 「病」：法定伝染病の欠席。
議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。

議案番号	議案	議決結果	議席	1	2	3	議長	5	6	7	8	9	10	11
			氏名	島袋 誠	上原 祐希	與那嶺 透	座間味 薫	座間味 邦昭	吉田 清尊	玉城 みちよ	與那勝 治	山城 太	與儀 常次	嘉陽 崇
第3回定例会 令和元年9月19日（木）														
議案第35号	北部広域市町村圏事務組合理約の一部を変更する規約について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	今帰仁村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	工事請負契約について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和元年度今帰仁村一般会計第4回補正予算について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和元年度今帰仁村国民健康保険特別会計第3回補正予算について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和元年度今帰仁村後期高齢者医療特別会計第1回補正予算について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和元年度今帰仁村一般会計第5回補正予算について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成30年度今帰仁村一般会計歳入歳出決算認定について	認定		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成30年度今帰仁村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成30年度今帰仁村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成30年度今帰仁村水道事業会計決算認定について	認定		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
決議第5号	県道247号線無電柱化実現を求める要請決議	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
決議第6号	名護東道路北進今帰仁ルート本部町終着の要請決議	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
第5回臨時会 令和元年10月18日（金）														
議案第43号	今帰仁村立認定こども園設置条例の制定について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	工事請負契約について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和元年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
第6回臨時会 令和元年11月11日（月）														
議案第46号	令和元年度今帰仁村一般会計第7回補正予算について	可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○

現場踏査

◎現場踏査は村が発注した事業、及びその他の事業の進捗状況を直接現場に出かけて調査するもので、定例会の会期中に行われています。



建設工事現場にて県職員から工事の進捗状況説明を受ける議員ら

本部港は2017年1月31日「官民連携国際クルーズ拠点港湾」に選定された。



村立認定こども園 みらい



村立子育て支援センターきらきら



認定こども園外観

研修風景

町村議会議員・事務局職員研修会が10月11日糸満市サムシング・フォー西崎で開催され、県30町村から約430名が参加し研鑽を積んだ。



11月28日自治会館

監査委員・監査職員研修会



9月19日、村主催で、県保健医療部砂川靖部長らを説明者にお迎えし、「北部基幹病院に関する説明会」が開催された。説明会では、「北部住民に安心・安全な医療を提供するための基幹病院の統合について」の説明を受けた。続いて行われた、質疑応答では今後の北部基幹病院の在り方について活発な意見交換を展開、議員らは研鑽を積んだ。



中央公民館講堂で行われた基幹病院説明会

編集後記

◆村民の皆様は2021年より香港からのクルーズ船が本部港に寄港するのはご存じだろうか。乗員乗客三千人（一万人（乗船者数は寄港する船の大きさにより違いがあります））を乗せた船が年間88回も本部港に寄港する予定だ。◆彼らは何を求めてどこに行くのか。本部町だけでなく今帰仁村、伊江村、名護市にどのような影響があるのか。◆1回の寄港で最低でも三千人の観光客が本部町に上陸する。バスやタクシー、レンタカーなどの二次交通は大丈夫なのか。◆我々村議会は9月23日から26日の日程でクルーズ船を約20年にわたって受け入れている石垣市と、日本や韓国へクルーズ船を多く走らせている台湾へ視察研修に行ってきた。◆先述したように寄港によっておこる影響や二次交通の問題など様々な課題が見えた。◆今月号より複数回にわたり視察研修で学んだことを報告する。できる限りの情報をお知らせし、村の発展のために皆様と一緒に考えていきたい。

広報委員長 與那嶺透